

校番	016	ホームルーム活動	生徒会活動	○	学校行事	別紙様式2
----	-----	----------	-------	---	------	-------

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立大竹高等学校	校長	流田 靖	生徒指導主事	岡本 茂生
-----	------------	----	------	--------	-------

取組事例名 『1学年 地域交流』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	1	「思いやり」	2	「自己有用感」	3

取組のねらい

- ・ 1学年，産業社会と人間の授業の一環による異校種間連携。
- ・ 幅広い年齢集団とのコミュニケーション能力の育成。
- ・ 地域社会へ参加することにより関心を高め，自らの将来への生き方を学ぶ。

取組の具体的内容	取組の創意工夫
----------	---------

- ・ 10月下旬，1学年における産業社会と人間の授業による取組。各クラスごとに，地域の保育所や小学校・養護老人ホームへ出向き，レクリエーションや手作りの遊戯・ゲームなど異年齢集団との積極的交流を図る。
- ・ 少人数（6～8）のグループに分かれて出し物や交流・対話を中心に計画。
- ・ 教員およびグループ代表者は訪問先と事前の協議・打ち合わせを複数回行い，心構えや留意点を確認する。

「共感的理解・相互理解」

「礼儀・思いやる心」

「学習の成果を地域に発信する」



取組の成果と課題

- ・ 仲間との共同制作や積極的発表の機会を与えることにより，自己肯定感の向上やコミュニケーション能力の育成につながっている。
- ・ 地域の中で共に学ぶ異校種の存在から刺激を受け，自己有用感を高めることができた。
- ・ 学習の成果として90%以上の生徒が達成感を感じられた。
- ・ 総合学科発表会で1学年の取組として，プレゼンテーション能力の向上が図れた。